

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2013年11月 | トップ | 2014年01月 》

検索

2013年12月27日(金)

検索

原発がこわい女たちの会ニュース87号発行

アーカイブ

【 CONTENTS 】

- 日本はただいま原発稼働ゼロ
- 再稼働と汚染水問題の勉強会をしました
- 福島県を訪れて
- 子ども・被災者生活支援法
- 報告(大飯原発裁判)
- 編集後記

12月25日に発行したニュースの内容は上記の通りですが、このうち再稼働と汚染水問題については既に載せた(10月24日ブログ)ので割愛します。
先ごろ、本会の松浦雅代が福島県の橋 柳子さんのもとを訪れ、仮設住宅の暮らしや無人となった浪江町の自宅の厳しい現状を見聞してきました。また今も原発への疑問を発信し続け、冤罪でその座を追われた佐藤栄佐久・前知事と面談してきました。その報告「福島県を訪れて」が中心となります。

■日本はただいま原発ゼロ(100日以上)
このまま原発ゼロをキープしたい。

自民党はエネルギー基本計画案を2014年1月に閣議決定しようとしています。この計画案は先の民主党政権下で掲げられた2030年代原発ゼロを反古にし、原発推進を強く打ち出しています。
計画案は原発を「**基盤となる重要なベース電源**」と位置づけている。「原子力規制委員会によって世界で最も厳しい水準の新規制基準の下で安全性が確認された原子力発電所については**再稼働を進める**」としているが、世界で最も厳しい水準の新規制基準は規制庁自身が安全を保証していないと言っている。新基準では設計基準は見直しはなかった。大元は変えないで、応急措置だけ。船が沈みそうだというのに、船そのものを直さないで、救命ボートをたくさんつけただけで、福島を踏まえた対策になっていないことが基本的な問題だと指摘がある。「もんじゅ」「六ヶ所再処理工場」の推進まで明記し、**核燃料サイクル政策の維持を表明している。高レベル放射性廃棄物処分場の候補地選りも急いでいる。**
もう一つ、原発推進の教育を強めようと、政府見解を書かせる教科書検定の動きもあります。

パブリックコメント 期限:2014年1月6日 差出人は名前のみで住所は不要
〒100-8931千代田区霞が関1-3-1
宛先:資源エネルギー庁長官官房総合政策課パブリックコメント受付担当者宛
FAX:03-3501-2305(1.氏名2.意見及び理由を記入)2,000字以内ハガキでもよい。

■福島県を訪れて

初めて福島県を訪れました。10月30日~11月2日までの3泊4日。4日間とても良いお天気でした。
昨年当会で講演して頂いた橋柳子さんを、現在お住まいの本宮市の仮設住宅に訪ねました。

福島空港と伊丹空港間で毎日5往復飛んでいるのがわかり、伊丹空港から福島空港に約1時間で到着しました。
飛行途中、機長から、飛行機は高度7000mを飛んでいます、紅葉した山々、雪の頂いた富士山が見えます、とのアナウンスがあり、私は窓から下を見ていて、田畑や家が幾何学模様に見えるにいつまでも観れるので気になっていたところだったので納得しました。福島空港に5分早く着きました。空港からバスで郡山まで45分、さらに東北本



- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

線で本宮まで約15分位でした。
駅から橘さんの車ですぐに仮設に着きました。

私は女たちの会所有の簡易空間線量計を持って行ったので、福島県の飛行場の玄関先でバスを待つ間測定すると、思っていたより低く和歌山と同じ位でしたので、まず安心しました。でもバスに乗って郡山市に近づくと段々高くなり、郡山駅からの東北線車内では0.2μシーベルト/h以上で変動して行くのを確認して、少し心配になって来ました。



本宮市で下車して本宮の仮設住宅の近くにモニタリングポストが建っていました。わたしが持参した空間線量計の数値の方が高かったです。私はこのあとも他の仮設住宅を橘さんに案内してもらい何箇所か見学しました。だいたい仮設住宅は公園の中に建てられていて、駐車場などはセメントで整地しています。そんなところは数値は低いのですが、そこから少し離れた草原や山の近くは軒並み高い数値になります。左写真の橘さん御夫妻の仮設住宅の中では0.23μシーベルト/hでした。

本宮市の仮設住宅そばの公園の中のモニタリングポスト(0.324μシーベルト/h)が設置されていましたが何回か測定しても数値が大幅に違いました。橘さんももっと高いはずだと云う事でした。私の空間線量計では0.762μシーベルト/hでした。モニタリングポストの数値が変化しないのです。

○その夜は、浅香荘に泊まりました
郡山市にあります会津に近い「磐梯熱海温泉」という温泉地です。ここで3泊しました。この周辺は線量が低かったです。右の写真は私の泊まった部屋の数値です(和歌山の私の家も瓦屋根の下はこれ位あります)。しかし屋外はやはり5割方高かったです。浅香荘は、小じんまりした宿舎で宿泊客は女性が多いようです。源泉でなめらかな良いお湯でした。



2日目(11月1日)
今日は前の福島県知事の佐藤栄佐久氏宅を訪問
福島県で私の記憶にある名前は、その当時の県知事佐藤栄佐久氏でした(佐藤栄作ではありません)。橘さんに「佐藤栄佐久さんに会えないかな」とお聞きしたところ「いとこ」を知っているから聞いてみると云う事で、この日会えることになりました。栄佐久さんの「従兄弟の佐藤さん」が運転する車で栄佐久氏宅に着くまで、佐藤さんにもお話しをお聞きました。17回も東京地検特捜部に呼び出されたそうです。収賄罪は無理と分かったのか選挙違反(選挙事務所が3か所と決まっているそうです。それ以上事務所があったので)で罪に問われたそうです。

私は2003年に朝日新聞の「私の視点」欄に載った福島県知事佐藤栄佐久氏の「核燃サイクル立ち止まり国民的議論を」というタイトルの記事を読んで、国民的議論をと主張する知事さんがいる事で、大きな期待と希望が膨らんだのを覚えています(この年和歌山県の御坊市に中間貯蔵施設誘致の問題が突然浮上していた)。佐藤栄佐久氏は1988年から福島県の知事でした。国の原子力・地方自治政策に県民の視点から国と妥協しない姿勢で、知事を18年務めた人です。

2006年事実なき談合関与の疑いで辞任。その後逮捕された時、私は「やられたな」と直ぐに思いました。佐藤栄佐久氏が『知事抹殺』平凡社発行(2009年)に詳しく書かれています。福島事故後『福島原発の真実』平凡社新書(2011年)にも、国の原子力行政が如何に嘘と誤魔化しであったかを書かれています。

そしてあとがきに、求めに応じて本書を書こうと決意したのは、次のような理由だとあります。それは、福島原発事故後の原発政策、ひいては震災後の福島、そして日本のあり方について、これから私たちは真剣に考え、議論しなければならないと思うからだ。いままでのように、上から下りてくるものをただ受け入れるのはやめよう。個人が考え、地域で議論し、それを市町村に、さらに県に、そして国に一。これこそが新しい国のあり方であり、地方自治のあり方でもある。と。

佐藤さんに昼食を御馳走になった後、栄佐久氏宅訪問。橘さんも初対面だと云う。

栄佐久氏の話は、1987年に当時自民党の中曽根康弘氏のヨーロッパ視察に随行した時のことから始まり、肉の料理が出て来た時、この肉はチエルノブイリの影響はうけていないと説明があったそうです。その時こんなに離れていてもと云う気がした、と言っていました。彼はすごく話したい事が多くて、質問すると実に詳しく説明して下さい。だから時間が直ぐに経過して2時間以上になったの

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
- そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
- コメントありがとう by sora(12/05)
- 突然すみません。東京 by 里美(11/22)
- 10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
- starさんコメントあり by sora(09/14)
- このブログを読むまで by star(09/13)
- こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
- 現在稼働している大飯 by star(04/09)
- 廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2013年12月 >

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

で、従兄弟さんからこのへんにしときましようと言う事で佐藤栄佐久氏の家を後にしました。栄佐久氏はこのところ取材等が多く、明日も取材があり11月中旬にはニューヨークで講演するその準備中だと言われていました。



(佐藤栄佐久氏宅の応接間にて、左から松浦・栄佐久氏・作田さん・橘さん)

3日目(11月2日)

浪江町に行って来ました

この日は橘さんの夫君・毅氏の運転で、本宮市の仮設住宅から片道約2時間30分かけてご夫妻の浪江町の御自宅にお伺いしました。臨時通行許可書が必要でした。(私も事前に申請して貰っていました)
 本宮市仮設を9時20分頃出発→(国道4号)→川俣・原町線→(県道12号)→飯館村
 車の中でも急に線量が高くなり、飯館村の除染作業、写真撮影(下)も車の中から撮りました。この一帯は山も除染作業中でした。
 →南相馬市(原町ポプラで昼食。室内の線量は浅香荘と同じ位でした)
 (国道6号線)→請戸港→請戸小学校
 請戸港は線量は低かったので外に出て写真を撮りましたが、福島第一原発から直線で約7kmのところであり港から原発が見えました。諸戸小学校は港からすぐのところに残ってありました。
 (国道114号)→大平山→浪江→下町・新町・駅前通り・中央公園・本城通り→橘さん宅着
 避難して人がいない街を走り抜けました。



橘さん宅の庭の芝生の上で4.3μシーベルト/h、家の中では1.2μシーベルト/h位でした。庭でも5μ以上のところもあり、浪江町も国の帰還政策で除染するようになったそうです。

屋根の除染と芝生のはぎとり等で、仮設住宅より放射能が低くなれば誰だって帰りたいと思いますよね。橘さんの浪江の自宅は地震や津波の大きな被害を受けていない

からか、電気も水も使えるので、水洗便所はお借り出来ました。福島県は東北電力管内なのですよね。

浪江町に入ったところに東京電力の常駐場所があり、そこに立ち寄り殺鼠剤を貰って、それを家の中の部屋ごとに新聞紙を敷き水色のクスリを撒く作業を済ませて、帰路に着きました。台所などはネズミの糞だらけでした。(右写真)



初日、仮設住宅で橘 毅さんに初めてお会いした時、整理された新聞紙の山とテレビだけの部屋で「人間は慣れるものですな」と話された言葉が私の中に残っています。仮設住宅で2年間過ごされて、NHKテレビで被災者の声として毅さんは「喪失感」、柳子さんは「避難の民を棄民にするな」と訴えられたそうです。

今回の福島の事故によって何もかも失ってしまった、のだ。辛うじて持ちこたえている魂までもが、あと何年持ち続けられるであろうか、と私は福島から和歌山に帰ってきてからも悶々とした日を送り、原子力災害の無情さを払いのける事が出来ませんでした。たち切られるのだ何もかも。二オイも痛みも何も感じない放射性生成物によって。

私は簡易放射線測定器を持って行きました。痛くもかゆくもない放射線量を知るために必要でした。福島県に入ってから常に福島第一原発事故由来の放射性生成物が身近にあると云う事に、戸惑っている自分がいました。行く前から言葉ではわかっていた事でしたが生活環境が汚染されてしまうとどうする事もできない事を初めて実感して帰って来ました。

(松浦雅代)

注)福島県は和歌山県より面積で3倍以上、人口でも2倍以上ある大きな県です。

原発がこわい女たちの会
 ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ

RSS

ID:

PASS:

サイト管理者

[ログイン](#)

SSLモードでログイン

BLOGariは2017年1月末
 サービス終了します



(すべて津波で流され、残っている数少ない建物)



(請戸小学校 生徒は大平山に全員無事避した)

諸戸小学校一帯が除染整備で、12月から立ち入り禁止になったそうです。(貴重な写真に)

■「子ども・被災者生活支援法」は線量が一定以上の対象に幅広い支援をうたって12年6月に成立しました。「避難」「居住」「帰還」のいずれの選択も尊重し、被災者を幅広く支援すると云う支援法の理念は骨抜きにされてしまいました。今年10月に支援地域を福島県内の一部に限定した基本方針が決まりました。

毎日新聞が「復興を問う第2部消えた法の理念」を連載(不定期)しています。その中で、内閣府が2012年3月にロシアなどへ職員を派遣し、チェルノブイリ原発事故の被災者支援を定めた「チェルノブイリ法」の意義を否定する報告書をまとめていたことがわかったそうです。当初から被害を小さく見せようとする意図があって仕組まれた報告書なんですね。

■報告

○12月3日(関電相手)大飯原発3・4号運転差し止仮処分裁判・大阪高裁第4回審尋

○12月18日(国相手)大飯原発3・4号運転停止行政訴訟・第8回法廷
関電相手・国相手の裁判のため大阪市の中之島にある裁判所に行って来ましたが、今回はどちらも10分~20分で終了でした。(枯れ木も山の賑わいと思っ行ってたけど、ご苦労さまでした)

■後記 * 自民党による政策が急ピッチに押し進められようとしています。うかうかしていると後のまつりです。民主主義があぶない。政府はウソを堂々と行って他の意見を聞く耳持たずです。私たちは主権者として、抗議の手紙を送ったり、いろいろ出来る事で行動しましょう。

* 橘柳子さんのお話し(原発事故避難者の声)の冊子を同封します。「ふくしまから発心する会」が発行していますが、取材をし作成したのが福島の大学生だと聞いて100部購入しました。ぜひ読み終わったら子や孫に、他の人にも回して下さい。福島のこと忘れない為に!(松浦雅代)

2013-12-27 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

2013年12月13日(金)

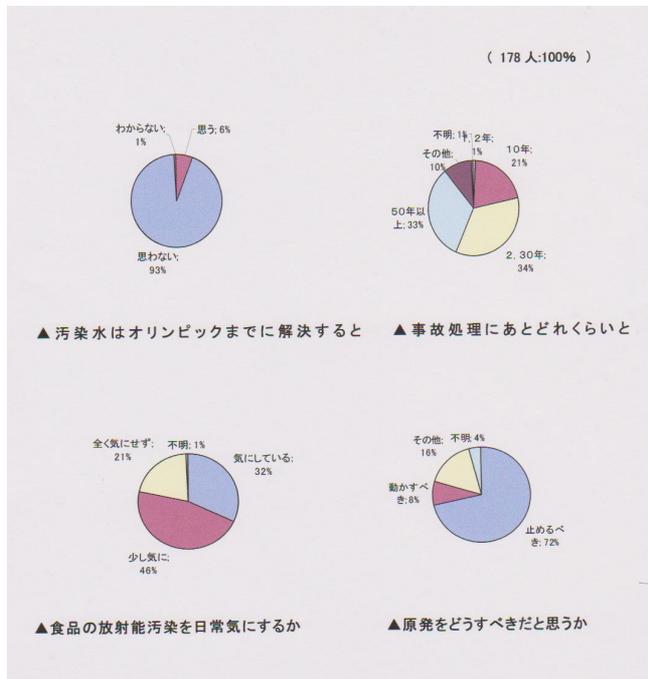
原発、汚染水についての街頭アンケート調査

先ごろ、「子どもたちの未来と被ばくを考える会」では、和歌山市民を対象にアンケート調査をしました。わたしも会員の一人として参加したので、「女たちの会」のこのブログでも一部紹介させてもらうことにします。
(なお<http://kodomomiraikibou2012.seesaa.net/>もご参照ください)

この調査は、一般の人は汚染水や原発の問題をどのように考えているのか知りたい、そして、原発事故が子どもたちに及ぼす影響を一緒に考えてもらいたい、その2つのねらいから始めたものでした。

街頭アンケートをおこなった地点は市内ぶらくり丁商店街(10月6日)およびJR和歌山駅前(11月9日)です。調査の実施には、いずれも正午をはさんだ数時間、「子ども未来」の会員10名弱があたりました。

調査にご協力いただいたのは、10代~80代の男女、合計178人です。結果の抜粋をグラフにしてあげてみます。



図からわかること:

○汚染水問題は東京オリンピックまでに解決すると「思う」と回答した人は6%にとどまり、「思わない・むずかしい」が93%と圧倒的。
 ○福島原発事故の処理にあとどれくらいかかると思われているかでは、オリンピック開催2020年どころか、数十年の長期スパンです。汚染水問題に限らず、メルトダウン燃料と原子炉の撤去、核のゴミの最終処分など考えると「予測もつかない」とも。
 ○食品の放射性物質による汚染については、日常生活の中で、「全く気にしていない」は21%にすぎない。
 ○最後に、あなたは原発をどうすべきだと思うかについては、「止めるべき」が72%と、他を大きく上回りました。「動かす」あるいは「その他」と答えた人も、代替エネルギーができるまでは仕方ない、難しくて選べない、などです。

行政への要求など日頃思っていることもたずねました。
 まず、自由回答にもかかわらず4割の人が記述していた(濃淡あるにせよ)ことが注目されます。街頭調査としてはかなり高率だといえます。
 なかでは「本当のことを知りたい」と情報公開を求める意見が多く、東電・政府の隠ぺい体質への不信感が根強いです。また、「もっとしっかりして!」「先送りしないで!」「勝手にやるな!」というイラ立ちありありの、福島事故対策の遅れや原発政策の無定見(もしくは推進)を批判するものでした。
 少数意見もごらんおきを。
 「あまり大騒ぎすぎる」「手負いの獅子は放っておけばよけいにあぶないから調教を。研究員、予算を増やし、原発を動かしながら世界一流のノウハウを身につけるべし」

これらを通して私が感じたのは、多くの市民が、政府の原発情報隠しには根っから不信感をもっていること、原発への不安を抱きその廃止を求めていることです。安倍首相がオリンピック招致演説で「汚染水は完全にブロックされている、状況はコントロールされている」と世界に向けて宣言したにもかかわらず、和歌山市民は「そんなのありえへん!」と受けとめているのです。…朝日新聞社が同時期おこなった世論調査でも、首相発言の是非は全く同様の傾向でしたね。
 (感じ方には個人差があるかもしれませんが)思っていたより調査への反応がよく多くの方に協力いただけました。回答のなかでも私たちとの会話のなかでも、原発への問題意識をもつ人が少なくないこともうかがえました。「原発は止めるべき」という人々の意思を私たちは今、共有しながらも、福島原発事故を風化させず再稼働を止めさせる為に、持続して人々に発信を続けたいと思いました。

(sora)

大逆事件は生きている—特定秘密保護法

記録映画「100年の罅—大逆事件は生きている」が8日、和歌山市で上映された。含蓄のあるいい映画だった。

1911年、明治天皇暗殺を企てたとして幸徳秋水、管野スガらが処刑されたという事実は知っていても、その個々の真相や政治的背景、後世への影響などは、実をいえばあまり考えてこなかった。歴史上の出来事として記憶にとどめるにすぎなかったのである。戦後、隠された真相を追求し犠牲者の復権に尽力する人たちが全国にいることも、とくに大石誠之助ら連座した6名のお膝元、熊野新宮でそのような活動のあることを見聞していたにもかかわらず。

この事件は、明治政府によるフレームアップ(でっちあげ)であり、その大半は冤罪犠牲者であったことは現代では周知の事実となっている。しかしこれを機に、国家権力は、無政府主義や社会主義、労働運動を徹底的に弾圧し、のちの治安維持法につなげて国民の心身を縛り上げていったのも事実である。

ところで、6日には特定秘密保護法案が自民・公明与党の賛成で成立した。国会の外では、日に日に法案反対の声が高まりジャーナリスト、学者、作家、宗教家など各界から、そして一般の市民から全国津々浦々、法案の内容と国会運営の手法に強烈な疑問や懸念、怒りが噴出した。にもかかわらず、だからこそか、安倍内閣は強行した。



6日、「Stop！秘密保護法」緊急パレード第3弾(和歌山市)

本当のことを知りたい、自由に聞きたい話したい、というのは、人間としての当たり前の気持ちであり、人権である。大逆事件の映画を観ながら、秘密保護法の不気味さをひしひし感じ取った。

視聴のあとの交流会でも、話し合われたのは100年前の事件と秘密保護法のつながりだった。「戦争に反対しなかったのかと当時の大人を責めていたのが、今回の法案通過で逆転した気がした」「国家権力のやり口は昔とかわらない」「情報操作はすでにおこなわれている(リニアモーターカーや原発など)、本当のことは自分で勉強するしかない」「萎縮せず、内閣が替わるまで頑張ろう」そして、若い人たちにもっとこの映画をみてもらいたいという意見が相次いだ。



8日「100年の罅」上映後の交流会 あいあいセンター(和歌山市)

特定秘密保護法—「秘密漏洩」していきなり死刑などありえないと信じるけれども、これは国民をまったく馬鹿にしたものだ。騒いでいる輩もすぐに忘れてしまっている、と。だからこそ、私たちは忘れるわけにはいかない。「大逆事件は生きている」というタイトルの意味をいま一度、反すうしてみたい。
(sora)

2013-12-11 | 記事へ | コメント(0) |

2013年12月03日(火)

緊急なお知らせ2つあります

国民の広範な反対運動のうねりにもかかわらず、安倍政権はごり押しで秘密保護法案を成立させようとしています。
大逆事件がでっちあげられたのは1910年、明治の末。熊野・新宮でも6名の犠牲者を出しています。無念の刑死をさせられた幸徳秋水らの弔(こだま)を、100年経って現在、私たちはどう受けとめることができるのでしょうか。愚かなことを繰り返さそうとしているのではないのでしょうか。

■100年の弔(こだま) 和歌山市で上映されます100年の弔 公式ホームページ: <http://taigyaku-movie.net/>

- 日 時 2013年12月8日(日)
 1回目 14時～15時半
 2回目 18時～19時半
- 会 場 あいあいセンター6階(センターみらい)
 和歌山市小人町29
- 参加協力費 一般1000円 / 学生500円
- 主 催 映画「100年の弔」を観る会
 (連絡先: 電話073-451-5960 松浦)

**映画『100年の弔 大逆事件は生きている』
上映協力をお願い**

1911年(明治44年)、幸徳秋水ら12名が絞首刑、12名が無期懲役に処せられた「大逆事件」は、大石誠之助ら熊野・新宮グループからも死刑2名、無期懲役4名を出すという、当地和歌山にも非常に深い関連を有する大事件であったばかりでなく、その後の日本が軍国主義の道を歩むこととなる歴史的な分岐点となった事件です。

「大逆事件」については、その後の研究により、国家によるフレームアップ事件であり、冤罪であったことが明らかとなってきています。

和歌山においても、大石らの地元・新宮市では、『大逆事件』の犠牲者を顕彰する会が2001年8月25日に結成され、同年9月、名誉回復と顕彰の決議が市議会全会一致で可決されました。また、本宮町(現田辺市)でも、「本宮町『大逆事件』犠牲者の名誉回復を実現する会」が2003年3月7日に発足、2004年11月、同町議会で名誉回復と顕彰の決議が全会一致で可決されています。

大逆事件100年を機に製作された映画『100年の弔 大逆事件は生きている』(2012年)は、犠牲者たちが何を考え、何をしようとしていたかを明らかにしようとした非常に優れたドキュメンタリー映画です。時代背景が異なるとはいえ、現在まで根絶できない冤罪事件や、いよいよ閉塞感が強まる一方の社会の傾向を見つめ直すきっかけともなり得る作品であると考え、和歌山市での上映会を企画しました。

皆さまのお力を得て、1人でも多くの方に上映会にご参加いただきたいと存じますので、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

■秘密保護法案に反対する全国集会があります

原発に反対する全国の団体が特定秘密保護法反対の集会を開きます。
「脱原発わかやま」も賛同団体に入っています。

**原発はいまでも秘密だらけ
ストップ！秘密保護法－全国の声国会に！緊急全国集会**

11月26日、秘密保護法案が、衆議院特別委員会および本会議で強行採決されました。福島での地方公聴会で7人の意見陳述人が、全員反対の意見を明確に述べた翌日、修正案が委員会に提出され、わずか数時間の審議で、質疑を途中で打ち切った強行採決でした。与党は、参議院でのスピード採決を目指し、強引な国会運営を進めています。

原発事故を生み出した原発の巨大利権そのものが秘密によって守られてきました。福島原発事故、核のゴミ、プルサーマル、MOX輸送、再稼働審査、原発輸出等々の多くの情報が秘密にされています。

それは3.11後も同じです。福島原発事故後、SPEEDIなど速やかに開示されるべき放射能情報が開示されず、多くの人たちが被災しました。これを踏まえ、10月9日、福島県議会は、「もし制定されれば、民主主義を根底から覆す瑕疵ある議決となることは明白である」とする「秘密保護法案」に対する意見書を、全会一致で採択しました。

ベトナムのニントゥアン第二原発における国費25億円を費やした事前調査も、ようやく開示された報告書は真っ黒け。この調査は日本原電が実施し、25億円のうち5億円は復興予算が流用されました。

額賀福志郎・衆院国家安全保障特別委員長は、「誤解だ。原発情報は秘匿されない」と発言しました。しかし、福島県弁護士会副会長の横井護士が発言したとおり、条文上、そのような保障はなく、時の為政

者の判断で、「テロ防止」名目でいくらかでも秘匿可能です。

全国各地から、これら問題に取り組んできた反原発団体が結集し、秘密の実態を共有し、秘密保護法の廃案を訴える院内集会を行います。原発裁判を担っている弁護士も参加します。集会後、参議院の地元の議員に対して「あくまで廃案を！」と要請します。

- ◆日時: 12月4日(水) 13:30~15:10
- ◆場所: 衆議院第一議員会館 多目的ホール
- ◆集合: 衆議院第一議員会館ロビーにて12:30より通行証配布
- ◆内容: 現状情報共有/各地からの報告/行動提案・討論
- ◆発言: 主催者から
福島から: 佐々木慶子さん(福島在住)、人見やよいさん(郡山在住)
各地から: 九州/岐阜/四国/北海道/青森/新潟/関西等(調整中)
傍聴報告: 杉原浩司さん「何が秘密?それが秘密」法に反対するネットワーク
弁護士: 海渡雄一さん(脱原発弁護団)

※終了後、15:15から議員まわりを行います。集合は上記と同じ衆議院第一議員会館多目的ホールです。こちらもぜひご参加ください。

- ◆資料代 500円+カンパ
- ◆よびかけ: グリーン・アクション/美浜の会/FoE Japan/フクロウの会
/秘密保護法を考える市民の会/原子力規制を監視する市民の会

※問い合わせ: 秘密保護法を考える市民の会 (TEL/FAX : 03-5225-7213)

2013-12-03 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

RSS 2.0